

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 人間関係とコミュニケーション | チームワークの要件

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

チームワークの要件

チームワークの要件

1. 目標の明確化・共有化

何故、何のために、何を、また自分の仕事の上工程・下工程、最終ゴールは？を明確にし、チームのメンバー全員がそのための役割の重要性を共有すること。集団とチームの異質点の一つは目標の明確化・共有化。

2. 組織化——リーダーとメンバー（フォロアー）の役割分担

集団がチームとして機能するためには、まず明確なリーダーの存在が不可欠である。最終的な決定権を持つもの、責任の所在が不明確ではチームとは言えない。そして、リーダーが存在して初めてメンバーのフォロアーとしての役割が明確に定まる。

3. 情報・意識の共有化（チームの一員であることの誇り）

必要・十分な情報と意識をチーム全員が共有化していなければ、チームワークは生まれないし、成り立たない。人間は機械ではない。必ず作動するプログラムなど存在しない。人間は利益だけでは動かない。人間関係の機微の重要性を知る。

4. 目標達成の方法・アクションプログラム（手順）の決定

メンバー全員の集団思考により、十分な理解・合意に基づいて、目標達成への方法、アクションプログラムを決定する。メンバーはリーダーの決定に従うのではなく、決定そのものに参画していく。

5. 協力態勢・体制の確立

協力＝仲間（メンバー）のサポート・アシストを信頼しながら、自分自身の義務・役割は責任をもって果たす。同時に、仲間（メンバー）をカバーリングし、仲間がピンチに立ったとき、なんの躊躇もなく助けること。

チームに限らず、すべての組織・集団において、【協力】はそこに属するメンバーの義務である。「気が合うから協力する、気が合わないから協力しない」ということは、チームのメンバーである以上、絶対に許されない行為である。

「まず、義務と責任を果たし、その後、権利を主張する」が社会の最本基本ルール。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[>>一覧へ戻る](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.